

CLUB NEWS



本欄はJARLの登録クラブの行事等を掲載しています。次号「夏号」の原稿締切りは、5月20日となっております。

クラブニュース

原稿入稿のお願い

- 文字数最大=18字詰め50行程度
- 締切=掲載希望月の前々月の20日
- 記号の意味
- 時日時 場場所 内容 周波数(モード) 申込(申請、書類提出)先 提出書類(方法) 問い合わせ先 参加資格 Eメールほか 注意 ク=クラブ 費用・申請料ほか 締切
- コンテストなどの結果は入賞局のみ掲載

CONTEST

コンテスト

ミズホピコトランシーバー デビュー40周年記念 QSO WEEK

◇JARL QRP Club 10-4-151 <略称>ピコトラ40周年QSO WEEK <目的>ピコトランシーバーデビュー40周年にあたり、ピコトランシーバーを活用しQRP通信を楽しもう(JARL QRP CLUB アワードに挑戦しよう) 時6月12日(土) 00:00JST~6月20日(日)24:00JST(6/17の国際QRPデー含む) <参加条件>○ピコトランシーバーを活用しQSO ※1QSOから有効 ○他コンテストのQSOを交信数に含めることができる ○ピコリニア・自作リニアアンプを空中線電力5W以下で使用可 ※JARLではQRPを空中線電力5W以下と定めている ○相手局は国内外、QRP/QROを問わない ○クラブ正員限定6月17日の国際QRPデーに1交信するとQSO数10加点 ※2交信以降は通常にカウント 例)期間中に31交信、6月17日に1交信でQSO数40局(30+10=40) <呼出方法>○SSB/AM:「CQ ピコ WEEK」 ○CW「CQ PWK」 <レポート交換>「RS(T)」のみ 3.5MHz~144MHz(10MHzを除く)のアマチュアバンド ※バンドプランを遵守 <使用可能なトランシーバー>・ピコシリーズ(JIM製品可):MX-3.5S, MX-7S, MX-14S, MX-18S, MX-15, MX-21S, MX-24S, MX-10Z, MX-28S, MX-6(Z), MX-6S(R), AM-6X, MX-2, MX-2F・FXシリーズ, QXシリーズ, MX-606D(空中線電力5W以下で使用)を含む ○上記トラン

シーバーをベースとした自作QRP機(例:ケースを取り換えた、終段を変更、クリスタルを多数実装化、周波数変更、周波数カウンタを実装したなど) ※10W機は空中線電力を5W以下(実測値)に低減して使用 ○QSO数が1QSOから提出可能 ○サマリーシート・ログ(JARL形式)、使用したリグの写真等資料とコメントをセット(電子データ推奨)にして提出。クラブ正員は会員番号を記載。サマリーシートのコードナンバーは「30」、名称は「アマチュア局」 ※写真等資料とコメントは当クラブHPに掲載、ハムフェアクラブブースにて掲出 ○書類提出者(希望者)には参加証。84円切手を送付 <記念品>書類を提出した方の中から以下の条件を満たす希望者1名に抽選でピコトランシーバー(中古・現状渡し)を進呈 ○期間中にピコトランシーバーを活用し40局以上とQSOした方 ○2アマ以上のクラブ正員(入会・継続から2カ月以上経過した方) ※入会は随時受付中 ○自局の無線機として活用できるよう登録(登録費は当選者負担)し、ユーザーレポートを会報に投稿できる方 ○上記の条件を満たす希望者は「記念品希望」を提出書類に明記 ○Eメール contest@jaarp.org 郵送:〒142-0063 東京都品川区荏原5-16-20 JE1ECF 斎藤 毅 6月30日(水)郵送は必着 <併設イベント>○ピコトラでJARL QRP CLUB アワードに挑戦しよう ※アワード詳細はHP参照(申請にかかる送料等費用は自己負担) ○クラブ正員によるQRVの活性化 <お断り>「ピコトラの定義・小型SSBトランシーバー」を重視しPシリーズを使用可能リグから除外。ピコトラによるCW運用、AM-6Xの使用は歓迎

ACC ロケーターコンテスト 2021

インターナショナル アワード チェイサーズ クラブ(ACC) 1エリア支部 10-4-139 <目的>○430MHz帯の活性化 ○グリッドロケーター(以下GLと略)の普及 ※2016年からマルチプライヤーが変更になったので注意。2019年から運用周波数が拡大したので、色々なモードで参加できます 時6月21日(月)00:00~27日(日)23:59 ※6月父の日

の翌月曜日から次の日曜日まで1週間(7日間)のマロンコンテスト 国内アマチュア個人局 ※社団局はACC各支部所属社団局(JN1YMP, JN1ZGI以下ACCクラブ局と略す)のみとし、これらのACCクラブ局は得点サービスの運用をおこなう ※一般社団局(クラブ局)は除く 430MHz帯、モードは全て、種目は設けない <参加部門>○メンバー部門 ○一般部門 <呼出方法>○電信「CQ ACC TEST」 ○電話「CQ ACCコンテスト」 <コンテストナンバー>RS(T) レポート(+ACCメンバーはM)+GL(6桁) ○データ、画像、ATV等は、電話や電信に準じる ○日が違えば運用地の変更可、ログに市郡区ナンバー・詳細町村地名等を記入 ○ロールコール中の交信も有効 ○日が違えばACCクラブ局と重複交信可 <禁止事項>○呼出周波数における呼出・交信 ○2波以上の同時電波発射 ○レピータの使用 ○上記のACCクラブ局を除き、同一局との重複交信(モードにかかわらず) ○一般社団局(クラブ局)との交信は無効、ログへの記載不可 ○ACCメンバー局の一般局としての参加 <得点>○ACCクラブ局との交信でGL(6桁)の交換あり:5点 ○ACCメンバー局との交信でGL(6桁)の交換あり:3点 ○一般局との交信でGL(6桁)の交換あり:2点 ○一般局・メンバー局との交信でGL(6桁)の交換なし:1点 <マルチプライヤー>運用日数(最大7マルチ)×異なるGL(6桁)の数 <総得点>得点合計×マルチプライヤー <チェックリスト>交信局数100局以上はチェックリストを提出 <失格事項>○提出書類の不備(文字判読困難な書類など) ○虚偽の報告 ○チェックリストなし <審査>提出されたログ内容を事務局にて審査し、前記禁止事項に抵触する書類は失格 ○上位入賞者に対して疑問点があれば確認作業をおこない、前記失格事項に該当すれば失格 <入賞>メンバー部門と一般部門それぞれ1位、2位、3位の入賞局に賞状 ○同得点の順位は最終交信の日時間が早い局を上位 <参加賞>ログ提出時にSASE(84円切手を貼り住所氏名と郵便番号を記した長形4号封筒)を同封した局に送付 <結果発表>ACCBT9月号とACC HPほか掲載予定 ○JARL形式のサマリーシー

ト・ログシート(A4判)または同等のものに、必要事項を記入し郵送 ○メール添付での提出は、次の形式のみを受付:JARL ログファイル(csv), JARL 電子ログシート, TXT形式ファイル, LOGCSVファイル, HAMLOG CSV形式ファイル, EXCELファイル 申問〒206-0001 東京都多摩市和田157-1-503 ACC#2372 7L3IUE 多田良平 問SASEまたはacc2372-7l3iue@rainbow.dti.ne.jp 7月26日(月)必着 ○コンテスト用ロギングソフトCTESTWIN(4.33)に対応 ※運用上の制約があります。詳細、ユーザー定義ファイル(ACC.md)はACCのHP (<https://www.jarl.com/acc/ctestaccinfo.html>)よりダウンロード

第33回ALLJA1 コンテスト

◇東京大学アマチュア無線クラブ 10-2-11 呼出方法・ログの提出方法(紙・ログの受付を廃止・web提出のみ) 6月26日(土)09:00~20:00 ※時間は部門によって異なるので注意 完全アマチュア局 1.9~50MHz帯 <出力>○電信電話:免許まで ○デジタル:免許かつ30W <部門類別>次の各々にして電信・電信電話部門, 1エリア内・1エリア外部門がある [シングルOP] ○HIGHバンド部門 ・時間:09:00~12:00 周波数:14~50MHz帯 種目:各シングルバンド, オールバンド ○LOWバンド部門 ・時間:16:00~20:00 周波数:1.9~7MHz帯 種目:各シングルバンド, オールバンド ○デジタル部門 ・時間:13:00~15:00 周波数:7MHz帯 種目:オールバンド [総合部門] すべてのシングルOP参加局について主催者側で改めて集計し, 総合部門にも自動的にエントリー。得点は各部門の和 [マルチOP] 前述HIGHバンド部門・LOWバンド部門・デジタル部門を通しての時間・バンドでの参加。種目はマルチOPHIGH&LOWオールバンド, マルチOP デジタルオールバンド [総合部門] すべてのシングルOP参加局について主催者側で改めて集計し, 総合部門にも自動的にエントリー。得点は各部門の和を運用人数で割る <参加部門>シングルOP部門では, HIGHバンド部門のうち1部門, LOWバンド部門のうち1部門, デジタル部門のうち1部門, 合計3部門での参加が可能 例) HIGHバンド部門では21MHzシングルバンドで, LOWバンド部門ではオールバンド, デジタル部門ではオールバンドで参加できる。マルチOPの場合はHIGH&LOWバンド部門とデジタル部門の計2部門での参加が可能 <通信相手局>電信・電話 1エリア内:国内で運用するすべてのアマチュア局 1エリア外:1エリア内で運用するアマチュア局(デジタル)国内で運用するすべてのアマチュア局

<呼出方法>○電話「CQ JA1 コンテスト」 ○電信「CQ JA1 TEST」 ○デジタル「CQ TEST」 <コンテストナンバー> ○電信・電話 1エリア内:RS(T)+市郡区ナンバー 1エリア外:RS(T)+府県支庁ナンバー ○デジタル:RST+市郡区ナンバー <得点>完全な交信で1点 ※同一バンド内での同一局との交信は電信, 電話, デジタルそれぞれ1回づつ得点1点 <マルチプライヤー>○電信・電話 1エリア内:各バンドで交信した1エリア外の異なる府県支庁の数, 1エリア内の異なる市郡区の数 1エリア外:各バンドで交信した1エリア内の異なる市郡区の数 ○デジタル すべて:各バンドで交信した異なる市郡区の数 <総得点>○シングルOP:得点の和×マルチの和 ○マルチOP:得点の和×マルチの和÷運用人数 書紙によるログ提出は受付けません。webサイト(<http://allja1.org/>)での登録に移行(基本的にはweb提出で, やむを得ない場合はメール提出を受理) 7月18日(日) <結果発表>公式サイトにおいて結果を発表 <禁止事項等>○JARLコンテスト規約を準用 ○デジタル部門はFTRoundupコンテストの規約を準用 <補足>○シングルOPとマルチOP, または複数のマルチOP局を兼ねて運用できない 例1)シングルOP(JI0VWL/1)で参加し, マルチOP(JA1ZLO)でも運用した→× 例2)マルチOP(JA1ZLO)で運用し, 他のマルチOP局(JA1YWX/1)でも運用した→× ※いずれか一方のみにエントリーし, 他方をチェックログ ○HIGHバンド部門, LOWバンド部門, デジタル部門それぞれ異なった場所からの参加も可能。1エリア内外をまたいだ場合は総合部門は1エリア内として取扱う http://ja1zlo.u-tokyo.org/

祝 IC-705販売1周年 QSOパーティ

◇JARL QRP Club 10-4-151 <略称>第1回705パーティ <目的>QRP運用を想定し開発されたIC-705の販売1周年とメーカーへの敬意を表してIC-705を活用しQRP運用の実用性を認識する 7月1日(木)0:00(JST)~7月5日(月)24:00(JST) ※機種名称と開催日を語呂合わせとし7月05日を含めています <参加対象>QRP(空中線電力5W以下)で運用 ※国内のIC-705ユーザー <参加条件>①自局はIC-705を空中線電力5W以下で使用 ※JARLではQRPを空中線電力5W以下と定めている ②通信相手局は国内外のアマチュア局 ※通信相手局の出力は不問。一般のQSOも下記に定めるレポート交換が成立すれば, 1交信としてカウント。他コンテストのQSOも1交信としてカウント ※該当するコンテストのルールによるレ

ポート交換でかまわない。サマリーシートの見解欄に参加コンテスト名称を記載 ③期間中に20局以上と交信 ④7月5日に1交信するとQSO数5加点 ※2交信以降は通常にカウント 例)期間中に16局交信し, 7月5日に1交信でQSO数20局(15局+5) ⑤期間中, 同一周波数帯・同一モードによる重複交信は認めない ⑥一般の状況により, 三密の防止, STAY HOMEによる運用を推奨。クラブ局での運用はシングルオペとし, 三密を防ぐため, 複数オペやゲストオペによる運用を禁じる ⑦特別記念局と特別局(8N.8J.8Mで始まる局)シングルオペに限る。交信相手局の場合はこの限りではない)は, チェックログ <通信相手局>②のアマチュア局 <参加部門>固定局, 移動局を問わず, 1局1部門への参加 コードナンバー・正員 ○MB・正員:クラブ正員がIC-705を使用する場合 ○GN・一般:クラブ正員以外がIC-705を使用する場合 ※クラブ正員は一般 [Hz・モード] 1.9MHz帯~430MHz帯 CW/SSB/AM/FM/DV ※4630kHzを除く ※アマチュアバンドプランを遵守 <呼出>○電話「CQ ICパーティ」 ○電信「CQ ICP」 ※呼出符号への/QRP付加は参加局のポリシーに委ねる <レポート交換>○クラブ正員:RST+会員番号(例:JE1ECF 696) ※クラブ正員:当クラブHP Members Listで正員と表示 ○一般局:RST+オペレーター名またはハンドル <得点・順位>QSOパーティにつき, 得点並びに順位付けはしない <書類提出時の注意事項>クラブ局での参加の場合, 個人のコールサインまたは運用者を明記 書紙提出する書類はサマリーシート, ログ, 補助資料 ※交信数20局未満の交信数であっても提出。補助資料とは運用時の感想や運用風景の写真, リグ活用に関わるアイデアなどの紹介や写真。当クラブHP等に掲載, クラブの活動報告に活用 ※集計結果, 補助資料(コメント集)はアイコム株式会社様と情報共有 ○ログの提出は電子メールを推奨 ○サマリー, ログシートはJARL形式を推奨 7月31日(土)郵送の場合は消印有効 申Eメール:contest@jaqrp.org 郵送:〒142-0063 東京都品川区荏原5-16-20 斎藤 毅(JE1ECF) <賞>交信数の合計が20局以上の局を対象に希望者には参加賞を進呈予定。参加賞対象者の中から抽選で副賞を進呈予定 ※参加賞, 副賞についてはアイコム様との打ち合わせにより決定 ※参加賞を希望する場合はサマリーシート意見欄に「参加賞希望」を明記 <参加者等発表> <http://www2.jaqrp.org/contests/> <諸注意>○電波法に則った運用 ○季節がら熱中症など体調に留意して運用 ○今回は, 三密の防止, STAY HOMEを推奨。手洗いの徹底・マスクの着用, ソーシャルディスタンスの確

保など、参加者は各自注意。アマチュア無線のイメージダウンに気を付けましょう
○移動運用の際は運用地所有者からの事前の運用許可を得ることを推奨。一般の方に配慮した運用を心掛けてください。＊自宅からのポータブル運用はこの限りでない
<承諾・協賛>アイコム株式会社

第3回FT-817 (ND) FT-818NDユーザー QSOパーティ

◇JARL QRP Club 10-4-151 <略称>第3回FTパーティ <目的>QRP運用の代名詞を引き継ぎ、メーカーのロングセラー販売に敬意をはらうとともに、FT-817、FT-817ND、FT-818ND(以下、817シリーズと称する)を活用しQRP運用の実用性を認識する ㉓8月14日(土)9:00(JST)～8月20日(金)21:00(JST) <参加対象>QRPで運用する国内の817シリーズユーザー <運用条件>①自局は817シリーズのいずれかを使用 ㉒JARLではQRPを空中線電力5W以下と定めている ㉑FT-818NDは5W以下で運用 ㉒交信相手局は国内外のアマチュア局 ㉓交信相手局の出力は不問。一般のQSO、他コンテストの交信も下記に定めるレポート交換が成立すれば、1交信としてカウント可 ㉔期間中に30局以上と交信 ㉕8/17、8/18のいずれかの日に1交信するとQSO数10を加点 ㉖2交信以降は通常にカウント。8/17、8/18両日に交信しても加点は20とはならない 例)期間中に21交信し、8/17、8/18のいずれか1日に1交信でQSO数を30局とみなす(20+10=30) ㉗期間中、同一周波数帯・同一モードによる重複交信は認めない ㉘先般の状況により、三密の防止、STAY HOMEによる運用を推奨。クラブ局での運用はシングルオペとし、三密を防ぐため、複数オペやゲストオペによる運用を禁じる ㉙特別記念局と特別局(8N、8J、8Mで始まる局)(シングルオペに限る。交信相手局の場合はこの限りではない)は、チェックログ <交信相手局>②のアマチュア局 <参加部門>固定局、移動局を問わず、1局1部門への参加 ○正員17:クラブ正員がFT-817を使用する場合 ○正員ND:クラブ正員がFT-817NDを使用する場合 ○正員18:クラブ正員がFT-818NDを使用する場合 ○一般17:クラブ正員以外がFT-817を使用する場合 ○一般ND:クラブ正員以外がFT-817NDを使用する場合 ○一般18:クラブ正員以外がFT-818NDを使用する場合 ㉒クラブ準員は一般局 ㉓サマリーシートの「参加部門および種目など」には名称のみを記載。コードナンバーは「-」を記載(JARLコンテスト電子ログサマリー作成ページにてコードナンバー空欄はエラーになる) [Hz・

モード] 1.9MHz帯～430MHz帯 CW、SSB、AM、FM ㉒4630kHzを除く ㉑アマチュアバンドプランを遵守 <呼出>○電話「CQ FTパーティ」 ○電信「CQ FTP」 ㉒呼出符号への/QRP付加は参加局のポリシーに委ねる <レポート交換>○クラブ正員:RST+会員番号(例:JE1ECF 696) ㉒クラブ正員:当クラブHP Members Listで正員と表示 ○一般局:RST+オペレーター名またはハンドル<得点・順位> QSOパーティにつき、得点、順位付けはしない <書類提出時の注意事項>クラブ局での参加の場合、個人のコールサインまたは運用者を明記 ㉒○提出する書類はサマリーシート、ログ、補助資料。30局未満の交信数であっても提出 ㉑補助資料とは運用時の感想や運用風景の写真、リグ活用に関わるアイデアなどの紹介や写真。当クラブHP等に掲載、クラブの活動報告に活用。集計結果、補助資料(コメント集)は八重洲無線株式会社と情報共有 ○ログの提出は電子メールを推奨 ○サマリー、ログシートはJARL形式を推奨 ㉒9月12日(日)(郵送は消印有効) ㉑Eメール contest@jaqrp.org ○郵送:〒142-0063 東京都品川区荏原5-16-20 斎藤 毅(JE1ECF) <賞>交信数の合計が30局以上の局を対象に希望者には参加賞を進呈予定。参加賞対象者の中から抽選で副賞を進呈予定 ㉒参加賞、副賞については、八重洲無線様との打合せにより決定 ㉑参加賞を希望する場合はサマリーシート備考欄に参加賞希望を明記 <参加者等発表> <http://www2.jaqrp.org/contests/> <諸注意>○電波法に則った運用 ○季節が熱中症など体調に留意して運用 ○今回は、三密の防止、STAY HOMEを推奨。手洗いの徹底・マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保など、参加者は各自注意。アマチュア無線のイメージダウンに気を付けましょう ○移動運用の際は運用地所有者からの事前の運用許可を得ることを推奨。一般の方に配慮した運用を心掛けてください。自宅からのポータブル運用はこの限りではない <承諾・協賛>八重洲無線株式会社

第3回鶴見川コンテスト 入賞局

◇横浜鶴見クラブ(JA1YJY) 11-1-64 ㉒2020年11月1日実施丸数字:順位 [流域内RS] ①JM1LRQ ②JR1BQJ/1 ③JA1GQC [流域外OS] ①JA1YTS/1 ②JA6SZV/1 ③JR1MEG/1 [QRP流域内RS] ①JI1UPL/1 ②JQ1WYB/1 ③JG8GZJ/1 [QRP流域外OS] ①JR1UJX/1 ②JN1SCA/1 ③JF6LIU/1

第15回3エリア 2mSSBコンテスト

◇3エリア2mSSB連絡会

○京都2mSSBers Group 22-4-22
○滋賀2mSSB愛好会 23-4-15
○奈良県2mSSB愛好会 24-4-7
○大阪2mSSB愛好会 25-4-71
○和歌山2mSSB愛好会 26-4-22
㉒4月1日(木)～7日(水) ㉒144MHz帯SSB ㉒国内のアマチュア個人局 <得点>○1交信1点 ○コールサイン・RSの交換 <マルチブライヤー>○マルチA:運用日数(最大7) ○マルチB:2020年(R2)4月から2021年(R3)3月までに開催された滋賀・京都・奈良県・大阪・和歌山・各愛好会2mSSBers Group主催のコンテストにログを提出した数(最大5) ㉒提出府県名をサマリーシート意見欄に記入 <総得点>得点合計×(マルチA+マルチB) <表彰>2021年関八会場にて表彰予定。関八場の開催等により連絡。総合1位、2位、3位、飛び賞を設ける。上記に含まれない3エリア府県1位各エリア1位。 ㉒表彰状は希望者のみ発行 <その他>○3エリア1局以上含むこと ○移動範囲は限定しない(注)大阪府常置場所の局が奈良県と京都府で運用のログ提出できますが、3エリア府県の表彰対象になりません、同様に2エリア3エリア運用のログ提出できますが、各エリアの表彰対象にならない ㉒いずれも総合の表彰対象 ○同一局との交信は一回のみ有効 ○コンテスト期間中の運用は同一コールサインとし、同一人が2以上コールサインを有する方との交信はいずれか一方 ㉒判断した場合は無効 ○ルールコール中の交信は無効 ○提出ログ等はJARL制定のコンテストログサマリーシート同等様式 ○重複交信を確認したチェックリスト不要、重複があればそのページ無効 ○同得点の場合は最終交信時間の早い方を上位 ○失格事項:重複3%以上、電波法違反した場合、虚偽の申請と認められる場合 ○異議申し立て等はJARLコンテスト規定に準じる ○郵送の方で到着確認希望の方は返信用はがき同封 ○結果希望の方はSASE(長形3号封筒に84円切手を貼り自分の住所を記入)を同封の方には送ります。ログ提出された方は、当HP発表<Eメールで受付諸注意>○件名に「2mSSB」の文字を入れる アドレス jf3nim@jarl.com ○JARLコンテスト電子ログ作成ツールを利用ください ㉒JARLコンテストで検索。添付ファイルは不可 ㉒4月30日(金)当日消印有効 ㉒間JF3NIM 田中 将夫 〒642-0001 海南市船尾237 ☎073-482-3202 jf3nim@jarl.com ㉒<http://www.jarl.com/wk2mssb/3erea-kiyaku.htm> (3エリア2mSSB検索) [各愛好会2mSSBers Group主催のコンテスト]例年の開催時期です。確認をお願いします ○大阪2mSSB愛好会 9月7日～14日 ○和歌山2mSSB愛好会 10月1

日～7日 ○京都2mSSBers Group 11月1日～10日 ○滋賀2mSSB愛好会1月2日～4日 ○奈良県2mSSB愛好会2月1日～7日 ※同一バンドモードで何度も交信しカード交換を済ませている場合必要以外のカード交換を自粛しましょう

第33回羽曳野コンテスト

◇羽曳野無線クラブ 25-1-40 晴4月18日(日) ○午前の部09:00～12:00(JST) ②③部門 ○午後の部13:00～16:00(JST) ①部門 【参加部門】 ① 電信電話7MHz13:00～16:00(JST) ② 電信電話50MHz09:00～12:00(JST) ③ 電信電話144MHz09:00～12:00(JST) ※社団局はシングルオペレーターに限る ㊦JARLのコンテスト使用周波数帯を使用<呼出>○電話「CQ 羽曳野コンテスト」○電信「CQ HMC TEST」>コンテストナンバー>○RS(T)+運用場所のJCC, JCGナンバー ○羽曳野無線クラブ員RS(T)+運用場所のJCC, JCGナンバー+M <交信中の禁止事項>○クロスバンドによる交信 ○同一または異なるバンドにおける2波以上の電波の同時発射 ○コンテスト期間中の運用地点は、同一JCCまたはJCG内 <得点>○羽曳野市内の局または羽曳野無線クラブ員との交信:10点 ○大阪府内の局との交信:2点 ○大阪府外の局との交信:1点 ㊦同一バンドにおいて同一局とは、電信・電話それぞれ一交信ずつ有効 <マルチプライヤー>異なるJCC, JCGの数(行政区は不可) <総得点>得点の和×マルチプライヤーの和 <必修条件>3エリアの局で得点2点以上 ㊦JARL様式に準じる ○書類は午前の部・午後の部の全3部門それぞれに提出できる ㊦5月23日(日)当日消印有効 ㊦〒583-0872 羽曳野市はびきの6-1-25 小谷方 羽曳野無線クラブ事務局 コンテスト係 ㊦if3xwn@jarl.com <表彰>各部門ごとに、入賞者には賞状と副賞 ※参加部門②③について3エリア以外での上位局も表彰 <その他>コンテスト結果ならびに参加賞をご希望の方はSASE(返信先を明記し120円切手を貼った封筒)同封で請求

オール旭川コンテスト

◇ハムラジオ大雪クラブ 01A-1-1 晴6月12日(土)21:00～6月13日(日)15:00分 ㊦日本国内のアマチュア無線局 ㊦JARL主催コンテスト使用周波数帯 <参加部門・周波数帯>○HF(3.5/7/14/21/28MHz) ○VUHF(50/144/430MHz) ○ALL(3.5/7/14/21/28/50/144/430MHz) <呼出>○電信「CQ HRTC TEST」○電話「CQ 旭川コンテスト」<コンテストナ

ンバー>○RST符号によるシグナルレポートと運用地のJCC, JCGナンバー ※JCCの区ナンバーは東京都だけですの注意 ○HRTCクラブ員とメンバー局はRST+JCCまたはJCG+M(メンバー)を付ける <交信上の禁止事項>○クロスバンドによる交信 ○2波以上の電波の同時発射(マルチオペは除く) ○同一バンド内の交信は電波型式が異なっても一回とする <得点>○9点:JA8YID局とM(メンバー)局との交信(M局は全国にいます、旭川市内で運用する局との交信(移動も可) ○6点:旭川市内を除く北海道内で運用する局との交信(移動も可) ○3点:国内で運用する局との交信(移動も可) 注1)移動も可とはその地域に来て運用するとその地域の得点 注2)ハムラジオ大雪クラブ員はM(メンバー)局として、他エリアで運用してもM9点 注3)ログインソフトによって得点認識方法が異なります、記号やアルファベットはその旨意見欄に記入 例)「Zlogの場合jccJcgの後ろにM, A, H, Tを付ける」と得点が反映される。Mメンバー9, A旭川市9, H北海道6, T他エリア3, その他のログインソフトお使いの場合は製作者にお願いしてください <マルチプライヤー>各バンド内の異なるJCC, JCGナンバーの数 ※JCCの区ナンバーは東京都だけなので注意 <総得点>各バンドで交信した得点の和×各バンドで得たマルチプライヤーの和 ㊦JARL制定または同形式(集計作業を早めたいため可能な方は電子ログ(Eメール)でお願いします) ㊦7月13日(火)消印有効 ㊦〒071-8691 旭川郵便局私書箱49号 ハムラジオ大雪クラブコンテスト係 ○電子ログ(Eメール)jg8lol@jarl.com ※件名にファイル名、貴局のコールサインを半角大文字 <失格事項>JARLコンテストルール失格事項に準じる <表彰等>○発表は8月初旬、旭川コンテストHPに掲載(<http://asahikawa-contest.jimdo.com/>), JARL NEWS秋号または冬号 ○表彰は各部門別1位から6位まで賞状を贈り、各部門別1位に副賞ふるさと特産品、2位以下に厳正なる抽選で後日進呈 ○参加証ご希望の方はSASEで84円切手を貼ったはぎのいる封筒を同封

2021年 十勝クラブコンテスト

◇十勝アマチュア無線クラブ(JA8YAD) 01E-1-0001 晴5月15日(土)21:00～16日(日)21:00 ㊦日本国内のアマチュア無線局の免許を有するもの(個人局) ㊦7/21/28/50/144/430MHz帯 電信電話部門のみ ※JARL主催コンテスト周波数帯を厳守 29MHz FM 運用は28MHz帯に含み50MHz帯はVHF <部門>○管内局:十勝管内で運

用する無線局(固定局・移動局) ○管外局:十勝管内以外の局, 十勝クラブ特別会員局(GM), 十勝クラブ員(M) 移動局 <種目> ○個人局シングルバンド(7/21/28/50/144/430MHzの各バンド) ○個人局マルチバンド <呼出>「CQ 十勝コンテスト」「CQ TC TEST」<コンテストナンバー>○管内局:RS(T)+市町村名または略記号+識別記号 ○管外局:RS(T)+都府県地域等名または都府県地域等ナンバー ※管外局の特別会員は識別記号(GM)マルチ適応できません(都府県支庁番号)。十勝アワードAAA賞, 取得者のみ <識別記号>○クラブ員:M ○AAA賞受賞している局:GM ○その他の管内局:0 ○管外局:記号なし <得点>M局との交信:5点, GM局との交信:10点, 0局との交信:3点, 管外局相互(一般局)の交信, 記号なし局との交信:それぞれ1点 <マルチプライヤー>○管内局:異なる都府県・地域等ナンバー, 十勝管内19市町村 ○管外局:異なる十勝管内19市町村, 管外運用局のM, GM局と交信した都府県・地域等ナンバー ※マルチが1つ以上の場合はボーナスマルチが1ポイント加算 <総得点>○シングルバンド:当該バンド得点の和×当該バンドマルチの和 ○マルチバンド:各バンド得点の和×各バンドマルチの和 ㊦JARL様式または同等様式(サマリーシート, ログシート) <厳守>申請は1種目のみとし, 複数の申請は不可, 申請は郵送のみとし, 電子申請は受付しません。メール等に添付, 申請もお受けできません ㊦6月21日(月)(消印有効) ㊦〒080-0013 帯広市西3条南8丁目10 帯広郵便局私書箱1号 十勝アマチュア無線クラブ 十勝クラブコンテスト係 ㊦Eメール ja8xcv@jarl.com 神谷宛 結果等はJARL NEWS, CQ Hamradioに掲載予定 <その他>○各種目の上位入賞者に賞状 ○同一バンド内での重複交信は電波型式が変わっても認めない ○コンテスト参加中は同一の都府県, 地域等(管外局) 1市町村内(管内局)での移動は可 ○十勝管内で移動運用局, 十勝クラブ特別会員局はその旨朱書き ○十勝クラブ特別会員とは, アワード規定に基づき, ゴールドAAAを受賞した局(GM) 【十勝管内市町村略記号】帯広市OB 音更OT 土幌町SR 鹿追町SK 新得町SI 清水町SM 芽室町ME 幕別町MB 池田町IK 豊頃町TO 中札内村NS 浦幌町UR 広尾町HI 大樹町TI 更別村SA 足寄町AS 本別町HN 陸別町RI 上士幌町KA

関東追加分

2021 JAG QSOパーティ (WARCバンド部門)

◇ジャパン・アワードハンターズ・グループ

ブ(JAG) 11-4-12 一般局同士の交信も有効 時6月26日(土)06:00~27(日)21:00JST 10/18/24MHz帯 全てのアマチュア局, SWL <参加部門>会員局, 一般局を以下の3部門 ○電話部門 ○電信部門 ○デジタル部門 各部門に別々にエントリー可 ※最高で3部門 <交信相手>○会員局・一般局:全アマチュア局 ○SWL:会員局, 一般局がしている交信の受信 ※同一局の連続受信は不可 <コンテストナンバー>RST+会員番号(4桁) ※一般局はRSTのみ <呼出>○電話「CQ JAG パーティー」 ○電信「CQ JAG PTY」 〇JARL形式のログ ○サマリー参加部門には以下のように記入 ・コードナンバー欄:会員番号 ※一般局は空欄 ・名称欄:例)「会員・電話」「会員・電信」「会員・デジタル」「一般・電話」「一般・電信」「一般・デジタル」「会員・SWL・電話」等 <ステッカー>○10局以上と交(受)信した書類提出者にステッカーを発行。サマリー意見欄に「ステッカー希望」「ステッカー不要」「ステッカー・台紙希望」のいずれかを朱書き ○ステッカーを希望する場合は、住所・氏名を記入し84円切手を貼った返信用封筒を同封 ○ステッカーとステッカー台紙の両方を希望す

る場合は、宛名ラベル(手書き可)と切手160円分を同封 7月30日(金)消印有効 〇郵送:〒286-0036 成田市加良部4-22-4-103 伊南栄治方 JAG パーティー事務局 ○Eメール: Jm1atf@jarl.com 〇SASEまたはメール(jm1atf@jarl.com)で <その他>〇書類提出のみ(ステッカーなど不要)はメールによる書類提出を受付。提出先のアドレスまで。ファイルを添付する場合は、txt形式またはcsv形式 ○サマリーシート・ログは、マルチ・得点欄が空欄でかまいませんが、サマリーシートの交信局数欄は記入してください ○10月16日(土)~17日(日)にJAG QSOパーティー・コンテストを実施。こちらへも参加をお待ちしてます ※コールサイン, JAG#, 参加部門等の記入忘れのないようお願いいたします



アワードマネージャー交代のお知らせ

◇黒部アマチュア無線クラブ 28-1-07 〇「KUROBE名水アワード」「北陸新幹線開業記念アワード」のアワードマネー

ジャー交代のお知らせ。4月1日より以下の送り先とします。〒938-0013 富山県黒部市番掛3761 高村浩之 jh9feh@jarl.com



八幡アマチュア無線クラブ

◇八幡アマチュア無線クラブ(JL3ZMF) 22-1-12 〇京都府の南に位置する八幡市に「八幡アマチュア無線クラブ」が令和2年11月に誕生し、12月には会長が経営する会社内を常置場所とするクラブ局 JL3ZMFを開局しました。会社内に設置した無線設備のため、制限される運用時間を少なくする目的で、クラブの会員が遠隔操作をおこなえる環境を備え、アンテナの設置が困難とされるHFからV/UHFまでの遠隔運用を可能にしています。今後は、常置場所をクラブ会員が集う場所として親睦を深め、情報交換やデジタル通信などHAMの楽しみ方を広げ、パソコン世代のハム仲間を増やすことを目標に、既に毎週土曜日の21時より144.96MHzでロールコールをおこなっておりますので、多くのご参加と当クラブへの入会をお願いいたします。

QSP

会員の情報広場

本欄では、JARL会員の皆さんのおこなう行事等を掲載しています。次号「夏号」の原稿締切りは、5月20日となっております。

イベント

カードラリー-GIFU2021 高山本線双六紀行

◇カードラリー-GIFU2021実行委員会 4月1日(木)~9月30日(木) 〇期間中に、メンバー局と35回交信する ※QSLカードの取得は不要。同一局とは1日に1回限り有効 ○2回目からの申請は、メンバー5人以上を含んで完成または、同一メンバー局で35回交信する ※一度申

請に使用した交信データは、次回以降の申請には使用不可。申請は、複数回できるが、申請ごとに申請料がかかる ○申請局には、記念品 ※1回目の申請は、貴局のコールサインを刻印した2Lサイズの木製プレート、5回目の申請にはアクリル板プレート、10回目の申請にはB5サイズの木製プレート、20回目の申請にはカードラリー特製ダイヤリー。それ以外の回数の申請には、達成証送る 4月1日(木)~10月15日(金) 〒500-8224岐阜県岐阜市

高田4-15-12 JI2EQL山田祐二 〇申請料:500円定額小為替 〇所定の申請書HPよりダウンロード 〇i2eql@jarl.com 〇メンバー局 JA2ABX, JA2GQT, JA2KGT, JA2WUK, JG2EAT, JG2VCQ, JH2WUZ, JH2LYU, JI2EQL, JI2FUI, JK2HOZ, JM2VVH, JO2BWZ, JQ2KPJ, JR2GEF, JH0HOD(現在16局) 〇詳細は <https://qslcard2021.nomaki.jp/> 参照

会費の継続は「コンビニ決済(番号方式)」で!! 支払い手数料が「無料」

会費のお支払い方法に、「コンビニ決済(番号方式)」が新たに加まりました。この方法をご利用された場合、会費のお支払い手数料は「無料」です。「JARL会員マイページ」より、お手続きいただけます。

詳しくは、次のJARL Webのページをご覧ください。

▽コンビニ決済(番号方式)とは

http://www.jarl.org/Japanese/5_Nyukai/cvs.htm

※会費継続の際にお送りしています「払込取扱票」によりコンビニで会費をお支払いの場合には、これまでどおり手数料がかかりますのでご注意ください。

※一部、コンビニ決済(番号方式)をご利用いただけない場合があります。詳しくは、上記のページ「コンビニ決済(番号方式)とは」をご覧ください。